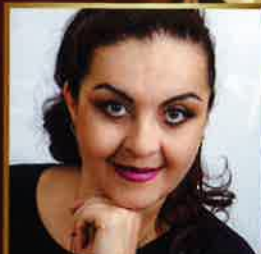




ヴェラ・ギルギノヴァ
(リリック・ソプラノ)



ラドスティーナ・ニコラエヴァ
(ドラマティック・ソプラノ)



エレナ・チャフダローヴァ
(アルト)



ミハイル・ミハイロフ
(テノール)



プラメン・ベイコフ
(バス)

珠玉のアリア集

「ある晴れた日に」 「誰も寝てはならぬ」 「星は光りぬ」
「私のお父さん」 「ハバネラ」
「ヴォルガの舟歌」 「慕わしい人の名は」

R. ショトラウス: 交響詩「ツァラトウストラはかく語りき」 op.30

ラヴェル: ボレロ

J. ショトラウス II: ワルツ「美しく青きドナウ」 op.314

ヴェルディ: 歌劇『椿姫』より「乾杯の歌」 ほか

ザ・シンフォニーホール

ニューイヤー祝祭コンサート

THE SYMPHONY HALL
NEW YEAR FESTIVAL
CONCERT



「指揮」 守山俊吾
「バレエ」 カンパニーでこほこ
「合唱団」 コーラス・アンサンブル いちばん星
「管弦楽」 ニューイヤー祝祭オーケストラ ほか

2017 **1/3** (火) 14:00開演 / 18:00開演
(13:00開場) / (17:00開場)

S ¥6,000 A ¥5,000 B ¥4,000 (税込) 主催 ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問い合わせ

プレイガイド

ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[10:00~18:00 火曜定休] <http://www.symphonyhall.jp>

e+(イープラス) <http://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯) チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 307-093]

ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード: 54955] 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00~20:00)

ザ・シンフォニーホール

発売日: 2016.10/1(土) [sinfonia会員先行 9/22(木・祝)]

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲順、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ザ・シンフォニーホール
ニューイヤー祝祭コンサート
THE SYMPHONY HALL
NEW YEAR FESTIVAL
CONCERT

ヨーロッパを中心に世界の劇場で活躍する名歌手を迎え、バレエや合唱を国際色豊かな管弦楽団で絢爛豪華な「夢舞台」を
守山俊吾氏がプロデュースする2017年の「New Year Concert」。

「ツァラトゥストラはかく語りき」のオープニングで始まるプログラムは日本のオペラ・ファンが最も愛する

「蝶々夫人」「トスカ」「トゥーランドット」「カルメン」など心を揺さぶられる名アリアの数々。

更にホールで美しさと輝きを一段と増すバレエはラヴェルの「ボレロ」とウィンナ・ワルツの作曲王J・シュトラウスⅡの「美しく青きドナウ」など
新年を皆様とともに祝い、謳う「乾杯の歌」でフィナーレを飾るまでの最高のパフォーマンスをこのクラシック音楽の殿堂でお楽しみいただけます。



守山俊吾 [指揮]

1977年指揮者としてデビュー。1986年ブルガリアに招かれ国立ソフィア・フィルハーモニック管弦楽団及び、国立室内オーケストラの4公演を指揮。1990年サンクトペテルブルクの最高のバレエ権威者のセルゲイエフ氏にバレエ「ジゼル」を指揮したのち「魔法の白い棒を持った男」と称賛された。1997年ハンガリーのショプロン市にある「フェルトラー・コシュ洞窟劇場」においてベルリンの壁崩壊の契機となる「汎ヨーロッパ・ピクニック」(国境開放)を記念した国際第9「自由への道」を指揮し、全世界の話題となる。2006年ブルガリア国立ソフィア・フィルの常任客演指揮者及びブルガリア芸術家協会会員として推薦される。共演したオーケストラはブルガリア国内の多数の楽団、ニュージーランド・シンフォニーをはじめ4オーケストラ。ハンガリー、ウクライナ、ポーランド、アメリカなど全世界規模で活躍している。



ヴェラ・ギルギノヴァ [リリック・ソプラノ]

2010年イタリア、スポレートでの「European Community Competition」でIdonea賞、2013年ブルガリア、パナギュリシテでの「Elena Nikolai Competition」で優勝。2006年ブルガリア国立ソフィア歌劇場でモーツァルト「フィガロの結婚」ロジーナ伯爵夫人役でオペラデビュー、同年ソフィアフィルハーモニーのモーツァルト「レクイエム」公演でソリストを務めた。Mila Diulgerova教授に師事。



ラドスティーナ・ニコラエヴァ [ドラマティック・ソプラノ]

1998年国立ルセ・オペラの「モーツァルト・ドン・ジョバンニ」公演にドンナ・エルヴィーラ役でオペラデビュー。2001年ソフィア、第3回ブルガリア全国「ブラバロフ」コンクール第二位。2004年ソフィア、第8回「ポリス・フリストフ」青少年オペラ声楽コンクール第三位。2005年ローマ、第4回「オッタ・ヴィオ・ジーノ」声楽コンクール第三位。2008年イタリアで開催された第9回国際若きリリカル歌手コンクール第一位、観客賞。



エレナ・チャフダローヴァ [アルト]

1993年ヴェルディの「リゴレット」のマッダレーナ役でデビュー。同年プロヴィディフ国立オペラのソリストに指名される。1997年からはソフィア国立オペラの常任客演歌手を務めている。1996年、ブルガリア、ソフィアの「ポリス・フリストフ」記念国際青少年声楽コンクール3位。1996年、スペイン、ビルバオの声楽コンクールで1位と特別賞。1997年、日本、東京で行われたオペラリア(世界青少年声楽コンクール)にて審査員奨励賞。



ミハイル・ミハイロフ [テノール]

イヴァンカ・ニノーヴァ教授に師事し、パンチョ・ヴラジゲロフ名称国立ソフィア音楽院を卒業。22歳でロッキーニ「セビリアの理髪師」アルマヴィーヴァ伯爵役でオペラデビュー。2013年英国デビュー。ロイヤルフェスティバルホールにて、エンリコ・マルコーニ指揮ロイヤルフィルハーモニックオーケストラとヴェルディ「レクイエム」を共演。同年末にはミュンヘン交響楽団の「ヴェルディ・プッチーニ・ガラコンサート」に出演。



プラメン・ベイコフ [バス]

オペラ歌唱をロンドンの王立音楽院で学び、ブルガリアの伝説的バス歌手ポリス・クリストフの研究をローマ芸術アカデミーで行った。ブルガリア、ロシア、スペイン、フランス、ギリシャ、イタリア、ポルトガルでコンサートに出演。モスクワのチャイコフスキーホール、サンクトペテルブルクのフィルハーモニーホールなど有名ホールでの経験を積む。2006年よりブルガリア、ルセ市国立オペラハウスのソリスト。

カンパニーでこぼこ [バレエ]

「誰にでも楽しめるバレエをしよう!」と、2005年に旗揚げ以来毎年の上演。トップクラスのダンサーの出演、古典作品の根本を失わず、現代の感覚を盛り込んだオリジナルの演出、そしてバレエは単に舞踊ではなく「無声演劇」という本質を重視し、本格的な舞台でありながら親しみやすく、客席は笑いと涙、そして感動に包まれています。2017年は第15回公演を兵庫県立芸術文化センター大ホールにて、守山俊吾指揮の下、フルオーケストラで上演。